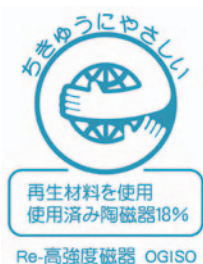


株式会社おぎそ

弊社は2005年、全国学校給食市場で発生する「食器の欠け」(アルミナ(Al₂O₃)含)の有価回収を開始。丈夫さ世界一のリサイクル高強度磁器食器を商品化し、今では全国で磁器素材を採用する自治体(約500)の半数以上(名古屋市教育委員会含む)と全国保育給食市場へ、「Re-OGISO」という名称で供給しています。このリサイクル事業は2009年に第3回ものづくり日本大賞優秀賞、2013年には広域認定取得(環境省特例)、2022年には樹脂製食器市場の要望に答え「PETボトル



でリサイクル食器」を商品化、結果2素材のエコマーク食器を市場に提供しています。この体験から全国のホテル市場を調査したところ、「使い尽くされた高価な食器素材

が廃棄されず保管されている」ことが判明したため、素材特性を活かし「蘇生食器づくり事業」に挑戦しました。



全国から回収されたリサイクル食器

その結果、2022年10月、環境省の中小企業の温室効果ガス削減目標に向けた脱炭素経営促進モデル事業(脱炭素70%削減)に採択され、2023年には新規事業として展開を予定しています。一方、事業再構築で保育用食器のECサイトを開設したほか、2022年8月にはM&A(事業譲渡)で雑貨小売事業(全国7店舗)に進出し、全国の消費者に向けて、食文化を支える「食器の再生事業」を紹介しています。



メッセージ

会長
小木曾 順務
おぎそ じゅんむ

1977年外航商船士官から陶磁器業界に転身。2004年全国学校給食市場を調査中、江戸後期の儒学者・佐藤一斎の愛弟子・山田方谷「義を明らかにし、利を図らず」の訓えに触れるとともに、秋田県で高校生から「欠けた食器のアルミナの活用」の要望を受け、廃アルミナを活かすエコマーク食器

づくりを考案し、2005年Re-高強度磁器食器を商品化しました。また、全国の管理栄養士からの「樹脂素材へのエコマーク認定」に関する要望に応え、PETボトルでRe-食器を商品化、2022年春、岡山県津山市に初納品しました。また、佐藤一斎「書を著して後生に残す」「後世に自分の考えを残すのが大切」の訓えから、海ごみの廃棄物資源循環システム整備を目指す「海ごみから革新的な社会を考える会」を開設し、海洋汚染を改善するための調査資料を全国に情報発信しています。

設立 1984年

事業内容 リサイクル食器づくり

所在地 〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1468番地

TEL 0572<59>8639 FAX 0572<59>4546

URL <https://www.k-ogiso.co.jp>

在日イタリア商工会議所

在日イタリア商工会議所（ICCCJ）は、イタリアと日本の間の商業的取引やさらなる交流を促すことを目的に、1972年に東京で設立された企業と企業家の協会で、1986年には、イタリア外務省からも公式に認可されました。

また、Assocamerestero（在外イタリア商工会議所協会）の一員でもあり、ICCCJ内に留まらない積極的なビジネス関係の構築や、54カ国にまたがる79のイタリア商工会議所との協力まで、様々な活動に参加しています。

具体的には、会員の経済状況に関する理解を深めたり、マーケティング戦略を向上させたりすることを目的としたイベントやセミナーを定期的で開催しています。

このほか、法人会員のニーズに応じて、新規事業の立ち上げからプロモーション戦略などまで、全ての段階におけるビジ

ネスサポートを日本とイタリア両国で行っています。海外進出準備のためのマーケティング調査、市場調査、的確なビジネスパートナーシップの選定および締結、最も効果的なプロモーション、事業範囲内の総合的なロジスティクスに関するサポート、商品販促キャンペーン、法的支援など、サポートは多岐に渡ります。

また、東京都内のICCCJオフィス内において、オフィススペースをレンタルするサービスも提供しています。



Gala Dinner&Concert（左）とItalia, amore mio!（右）の様子



メッセージ

事務局長

Davide Fantoni

ダヴィデ・ファントーニ

中経連との友好関係が結べたことを心より嬉しく思っております。

私の日本での生活は20年を超えますが、6、7年ほど前に初めて中部地方（名古屋）へ足を踏み入れ、その土地柄を知った時の印象は格別なものでした。

私の生まれた国イタリアは、いくつもの小さな町が経済面、文化面でそれぞれの特色を発揮し、結果的

に国全体で見た時のイタリアの魅力を作り出しています。愛知県でまさに、首都/大都市でない、その町としてのエネルギーを感じ、親近感を得たものです。これは社会として非常に大切な要素で、人と人が話し合い、数字や情報による損得の力でなく、人間の単位で社会を動かしていくという温かい世の中の姿が骨格にあります。

我々は東京のみにオフィスを構えているため、どうしても東京中心の活動ばかりになっていましたが、これからは中部地方の皆様と手を取り、意義のあるプロジェクトを展開していければと考えております。

設立 1972年3月

事業内容 経済団体

所在地 〒108-0073 東京都港区三田四丁目1番地27 FBR三田

TEL 03(6809)5802 **FAX** 03(6809)5803 **URL** <https://iccj.or.jp/ja/>